

先日は手賀沼定例探鳥会にご参加いただき、ありがとうございました。てがたんの観察記録でレポートを作成しましたので、ご覧ください。次回9月の「てがたん」は9月10日(土)で「トンボとバッタ」がテーマです。ご都合のつく方は、ぜひご参加ください。

*市民スタッフの方へ 次回のてがたん下見&打ち合わせは9月3日(土)です。よろしくお願いいたします。

8月の観察コースと内容

- コース：鳥の博物館→香取神社→水生植物園(フジ棚)→手賀沼遊歩道
- 観察日時/天気 2011年8月13日(土) 10:00~12:00 / 晴れ
- 参加者 22名
- 市民スタッフ 7名(小泉伸夫、須貝基康、弘實さと子、古川克彌、松村定雄、保田行弘、湯瀬一栄)
- 鳥博職員 1名(塩田いづみ)

観察記録 - 8月に観察した生き物リスト-

【鳥類】

カイツブリ科：カイツブリ/ウ科：カワウ/カワセミ科：カワセミ/ツバメ科：ツバメ/セキレイ科：ハクセキレイ/ヒヨドリ科：ヒヨドリ/
ウグイス科：ウグイス/シジュウカラ科：エナガ、シジュウカラ/ハタオリドリ科：スズメ/ムクドリ科：ムクドリ/カラス科：ハシボソガラス、
ハシブトガラス

【爬虫類】ニホントカゲ

【昆虫・クモ】

カメムシの仲間：アブラゼミ、ミンミンゼミ、ニイニイゼミ、ヒグラシ/トンボの仲間：ナツアカネ、ノシメトンボ、マイコアカネ、
マユタテアカネ、チョウトンボ、シオカラトンボ、オオシオカラトンボ/甲虫の仲間：カブトムシ、マメハンミョウ、クロウリハムシ、
ヤマトタマムシ(翅)、カナブン、キイロテントウ、ナナホシテントウ/アブ・ハエの仲間：シオヤアブ/チョウの仲間：アゲハ、アオスジアゲハ、
キアゲハ、クロアゲハ、キタテハ、アカタテハ(幼虫)、ツマグロヒョウモン、サトキマダラヒカゲ、ヤマトシジミ、ベニシジミ、ツバメシジミ、
ウラギンシジミ、モンシロチョウ/バッタの仲間：コバネイナゴ、ショウリョウバッタ、オンブバッタ、ヒシバッタ、ウスイロササキリ、
エンマコオロギ/ハチの仲間：キイロスズメバチ、ニホンミツバチ、クマバチ、ヒメハラナガツチバチ

【花】

キク科：ハキダメギク、ヒメムカシヨモギ、オニタビラコ、アメリカタカサブロウ/ゴマノハグサ科：トキワハゼ/オモダカ科：オモダカ、
ヘラオモダカ/ツユクサ科：トキワツユクサ、ツユクサ/キンポウゲ科：ケキツネノボタン/アカバナ科：アカバナユウゲシヨウ/クマツヅラ科：
クサギ/タデ科：ミズヒキ/アカネ科：ヘクソカズラ/ヤブコウジ科：マンリョウ

8月の観察アルバム



今回のてがたんのテーマは「セミの観察」でした。パネルを使ったセミの解説や実際に採集して楽しみました。水田では大きく伸びたイネの間から、白い花をのぞかせるオモダカの花が印象的でした。



今月の案内人 松村定雄さん、保田行弘さん



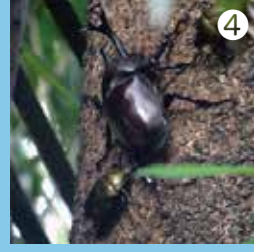
香取神社でセミのお話



マユタテアカネの顔には2つの黒い模様(眉斑)がある



白い花のクサギは秋に青紫色のきれいな実をつけます



夏の林の代表的な昆虫でもあるカブトムシとカナブン



カラムシを食べていたアカタテハの幼虫



アブラゼミの抜け殻♀

メスのセミは産卵管があるので、抜け殻には、その痕跡である突起(矢印部分)があります。



8月てがたんの観察生物とルート



アブラゼミの抜け殻♂

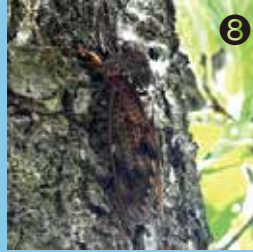
オスの抜け殻には産卵管の痕跡はないので、抜け殻から雌雄を見分けるポイントになります。



爽り始めたマテバシイのドングリ



セミの抜け殻もたくさん見つけました(写真はアブラゼミ)



手賀沼周りの並木ではアブラゼミを採集しました



おせち料理に使われるクワイはオモダカが原種で、塊茎が食用



レポートに何度か登場しているマメハンミョウは体液に毒があるので注意!

今月の鳥 ヒヨドリ

ヒヨドリ (スズメ目ヒヨドリ科)

ヒヨドリは果実や果汁が大好きな鳥です。ヒヨドリの舌の先端は筆のような形状をしていて、蜜がなめやすいようになっています。ヒヨドリに庭木の実を食べられてしまった話や他の鳥を追い出して餌台のミカンやリンゴを独り占めしているという話を来館者からよく聞くことがあります。

果実をよく食べるヒヨドリも夏は昆虫をよく捕まえます。ヒヨドリは足指で餌をしっかりつかむのは苦手なので、優れた飛行能力をいかして、飛びながらくちばしで捕まえることが多く、果実や種子も空中で飛びついて採ることがあります。

これから秋になると餌を求めて庭や公園を飛び回るヒヨドリがさらに目立つ季節になります。



トウネズミモチの枝にとまるヒヨドリ



ヒヨドリの舌